

注3

大学番号：私015

[平成26年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

北翔大学 生涯スポーツ学部 健康福祉学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人浅井学園
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部総務課

職名・氏名 ソウム フ チョウ フジバヤシ トシヒコ
総務部長 藤林 俊彦

電話番号 011-386-8011

（夜間） 011-386-8211

FAX 011-387-1542

e-mail tfuji@hokusho-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部

（□□学部（平成◇◇年度より変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1	ページ
2	授業科目の概要	5	ページ
3	施設・設備の整備状況、経費	11	ページ
4	既設大学等の状況	12	ページ
5	教員組織の状況	14	ページ
6	留意事項に対する履行状況等	28	ページ
7	その他全般的事項	29	ページ
8	添付資料		「北翔大学 FD規程」

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人 浅井学園

(2) 大 学 名

北翔大学

(3) 大学の位置

〒069-8511
北海道江別市文京台23番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(カマダ ショウイチ) 鎌田 昌市 (平成23年3月)		
学 長	(アイチ マサコ) 相内 眞子 (平成22年2月)	(ニシムラ ヒロキ) 西村 弘行 (平成26年2月)	任期満了に伴う変更 (26)
学 部 長		(マシヤマ ナミ) 増山 尚美 (平成26年4月)	平成26年4月1日就任 (26)
学科長等		(オダ シロウ) 小田 史郎 (平成26年4月)	平成26年4月1日就任 (26)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成 2 4 年度に報告済の内容 → (24)

平成 2 6 年度に報告する内容 → (26)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は、平成23年度開設の4年制の学科の場合(平成26年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
生涯スポーツ学部 健康福祉学科 学士(健康福祉学) (介護福祉学)	4年	60人	3年次 5人	250人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度		平成 2 8 年度		平成 2 9 年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60人 人 (ー) [ー]		人 人 () []		人 人 () []		人 人 () []		0.60倍	
志願者数	52 (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	 () []	 () []	 () []	 () []	 () []	 () []		
受験者数	52 (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	 () []	 () []	 () []	 () []	 () []	 () []		
合格者数	52 (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	 () []	 () []	 () []	 () []	 () []	 () []		
B 入学者数	36 (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	 () []	 () []	 () []	 () []	 () []	 () []		
入学定員超過率 B／A	0.60									

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度		平成 2 8 年度		平成 2 9 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[ー] 36	[ー] ー	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2 年次			[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3 年次					[]	[]	[]	[]	
4 年次							[]	[]	
計	[ー] 36		[]		[]		[]		

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

健康福祉学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	36 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
			平成27年度	— 人	— 人		
			平成28年度	— 人	— 人		
			平成29年度	— 人	— 人		
平成27年度 入学者	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人		— %
			平成28年度	— 人	— 人		
			平成29年度	— 人	— 人		
平成28年度 入学者	— 人	— 人	平成28年度	— 人	— 人		— %
			平成29年度	— 人	— 人		
平成29年度 入学者	— 人	— 人	平成29年度	— 人	— 人		— %
合 計	36 人	0 人					0 %

(注)・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、

【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください

・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<生涯スポーツ学部 健康福祉学科>

(1) 授業科目表

科目 区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
				必	修	選 択 自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
導入 科目	基礎教育セミナーⅠ	1前	1				1 6	5	2				クラス編成に伴う教員減(26)
	基礎教育セミナーⅡ	1後	1				1 1 6	5	2				クラス編成に伴う教員減(26)
基礎 科目	日本語表現	1前	1					1					兼7
	数学入門	1後	1				1						兼7
	情報機器操作Ⅰ	1前	2										兼1
	情報機器操作Ⅱ	1後	2										兼1
	健康体育(実技を含む)	2前		2									兼3
	英語コミュニケーションⅠ	1前	2										兼1
外国 語 科目	英語コミュニケーションⅡ	1後		2									兼1
	英語(中級)	2前		2									兼4 少人数教育実施のため担当教員追加 兼3 (26)
	英語(上級)	2後		2									兼4 少人数教育実施のため担当教員追加 兼3 (26)
	韓国語	2前		2									兼2
	中国語	2前		2									兼1
	ドイツ語	2前		2									兼1
	フランス語	2前		2									兼1
	スペイン語	2前		2									兼1
全学 共通 科目	現代生活と政治・経済	2前		2									兼2
	現代生活と法律	2前		2									兼1
	現代生活と福祉	2前		2			1						
	現代生活と芸術	2前		2									兼2
	現代生活と教育	2前		2									兼1
	現代生活と心と体	2前		2				1					
	現代生活と物理	2後		2									兼2
	現代生活と宇宙	2後		2									兼1
	現代生活と環境科学	2後		2									兼1
	北海道の文化	2後		2									兼1
	日本国憲法	2後		2									兼1
	情報社会及び情報倫理	2後		2									兼1
	情報処理(中級)	3前		2									兼2
	情報処理(上級)	3後		2									兼1
就業 力 養成 科目	キャリアデザインⅠ	1前	1										兼1
	キャリアデザインⅡ	1後	2					2					兼6 展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
	キャリアデザインⅢ	2前	2					2					兼6 展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
	キャリア演習Ⅰ	3前	1				1						兼5 展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
	キャリア演習Ⅱ	3後	1										兼1
	キャリア演習Ⅲ	4前		1									兼1
	キャリア演習Ⅳ	4後		1									兼1
	就業力特別講義Ⅰ	2後	1				1						兼7
	就業力特別講義Ⅱ	3前	1										兼2
	インターンシップ	2・3後		2									兼1
小計(40科目)		—	19	50	0	2 6	6 5	2	0	0	兼52 兼39		

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
外国人 留学生 科目	日本語	1前		2							兼1	
	現代日本の文化	1後		2							兼1	
	小計(2科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	兼2	—
関心する 科目・健康 群に 発展科目 関心する 科目・生活 群に 関心する 科目・芸術 群に	食生活と健康	1前		2							兼1	
	スポーツ施設管理論	4前		2							兼1	
	心理学概論	1前		2							兼1	
	心理統計法	2前		2							兼1	
	生涯発達心理学	1前		2							兼1	
	人間関係の心理学	1後		2							兼1	
	育児支援の心理学	2前		2							兼1	
	福祉心理学	1後		2							兼1	
	犯罪心理学	2後		2							兼1	
	社会教育概論	3後		2							兼1	
	社会教育計画	4前		2							兼1	
	社会教育課題研究	4前		2		1					兼1	
	社会教育課題演習	4後		2								
	社会教育施設論	4前		2							兼1	
	青少年学習コーチング論	3前		2							兼1	
	リカレント教育論	4前		2							兼1	
	ファッションデザイン概論	1前		2							兼2	
	インテリアデザイン	1後		2							兼1	
	ユニバーサルデザイン	1後		2							兼1	
	空間デザイン史	2前		2							兼1	
	美術史	2後		2							兼1	
	美学	3前		2							兼1	
	音楽概論	1後		2							兼1	
	音楽鑑賞法	2前		2							兼1	
	音楽史	2後		2							兼4	
	小計(25科目)	—	0	50	0	1	0	0	0	0	兼21	—
学部共 通科目	生涯スポーツ学	1前	2				1					
	生涯学習論	1前		2		1						
	生涯学習展開論	3後		2							兼1	
	栄養と健康	1後		2							兼1	
	健康学	1前	2			1						
	健康管理論	2前 2後		2							兼1	教育効果を考慮し、開講学期を前学期に変更(26)
	地域支援実習	2通		2		1	2				兼2	
	コミュニケーション論	4前		2							兼1	
	健康運動指導演習	3後		2							兼2	
	体育原理	1後		2							兼1	
	スポーツ心理学	1前		2							兼1	
	スポーツ社会学	1後		2							兼1	教育内容の充実を図るため担当教員変更(26)
	スポーツ運動学	1前		2							兼1	
	スポーツマネジメント	2前		2							兼1	
	スポーツ史	3後		2							兼1	
	生理学	1前		2							兼1	
	運動生理学	1後		2							兼1	
	就業力特別演習Ⅰ	3後		1			2				兼5	
	就業力特別演習Ⅱ	4前		1		1	2				兼3	
	就業力特別演習Ⅲ	4後		1		1	1	1			兼2	
	小計(20科目)	—	4	33	0	3	5	1	0	0	兼23 兼22	—
学科専 門科目	健康福祉学概論Ⅰ	1前	2			1	3					
	健康福祉学概論Ⅱ	1後	2			1	3					
	スポーツ医学基礎	2前		2			1				兼2	
	スポーツ内科学	2後		2							兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置						備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手				
学 科 専 門 科 目	スポーツ整形外科学	3前		2									兼4	クラス編成に伴う担当教員追加 (26) 展開方法変更に伴う担当教員削除 (26) 時間割編成上のため担当教員削除 (26) 教育効果を考慮し、配当年次を1年次に変更 (26)
	スポーツ・バイオメカニクス	2前		2									兼1	
	コーチ学	1後		2									兼1	
	ジュニアスポーツ論	3後		2									兼1	
	中高年スポーツ論	3後		2									兼1	
	障がい者スポーツ論	3後		2									兼1	
	基礎解剖学	1前		2									兼1	
	機能解剖学	1後		2									兼1	
	身体発育・発達論	3前		2									兼1	
	トレーニング論	1前		2									兼1	
	トレーニング演習	1後		2									兼6	
	レジャー・レクリエーション論	1後		2									兼1	
	野外・レクリエーション指導論	2後		2									兼1	
	レクリエーションマネジメント	3後		2									兼1	
	生涯スポーツ(陸上競技)	1前		1									兼4 兼3	
	生涯スポーツ(器械運動)	1後		1									兼1 兼2	
	生涯スポーツ(バレーボール)	1後		1									兼1 兼2	
	生涯スポーツ(バスケットボール)	1後		1									兼1	
	生涯スポーツ(ニュースポーツ)	2後		1									兼1	
	生涯スポーツ(エアロビック)	1前 2前		1									兼1	
	生涯スポーツ(障がい者スポーツ)	4前		1									兼1	
	生涯スポーツ指導演習(エアロビック)	2後		2									兼1	
	生涯スポーツ指導演習(水泳・水中運動)	3前		2									兼1	
	健康栄養学	3前		2									兼1	
	精神保健	3前		2				1						
	救急処置	2後		2									兼2	
	運動処方	3前		2			1							
	運動処方演習	4前		2				1					兼2	
	体力測定評価	2前		2									兼1	
	体力測定評価演習	3前		2									兼4	
	生活の中の介護福祉	2前		2					1					
	生活習慣病概論	2前		2									兼1	
	介護実践管理論	4前		2									兼2	
	医学概論	1前		2									兼1	
	医学知識	1後		2									兼1	
	社会学	1前		2									兼1	
現代社会と福祉Ⅰ	4前		2			1								
現代社会と福祉Ⅱ	4後		2			1								
社会福祉調査論	1後		2									兼1		
ソーシャルワーク概説Ⅰ	2前		2									兼1		
ソーシャルワーク概説Ⅱ	2後		2									兼1		
ソーシャルワーク論Ⅰ	1後		2				1							
ソーシャルワーク論Ⅱ	2前		2				1							
ソーシャルワーク論Ⅲ	2後		2									兼1		
ソーシャルワーク論Ⅳ	3前		2									兼1		
地域福祉論Ⅰ	3前		2				1							
地域福祉論Ⅱ	3後		2				1							
社会福祉行政・福祉計画論	4前		2									兼1		
社会福祉運営管理論	4前		2			1								
社会保障論Ⅰ	3前		2				1							
社会保障論Ⅱ	3後		2				1							
高齢者福祉論Ⅰ	2前		2				1					兼1		
高齢者福祉論Ⅱ	2後		2				1					兼1		
障害者福祉論	2前		2			1								

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
学 科 専 門 科 目	児童・家庭福祉論	1後		2							兼1	
	公的扶助論	2後		2							兼1	
	医療福祉論	3後		2							兼1	
	就労支援論	3後		1							兼1	
	権利擁護と成年後見制度	3後		2							兼1	
	司法福祉論	3後		1							兼1	
	相談援助演習Ⅰ	2前		2			1				兼2	
	相談援助演習Ⅱ	2後		2			1				兼2	
	相談援助演習Ⅲ	3前		2			2				兼1	
	相談援助演習Ⅳ	3前		2			4					
	相談援助演習Ⅴ	3後		2			4					
	相談援助実習指導Ⅰ	2後		2			4					
	相談援助実習指導Ⅱ	3通		4			4					
	相談援助実習	3通		6			4					
	高齢社会の街づくり	3後		2		1						
	介護福祉と生活文化	3後		2		1		1				
	リハビリテーション論	3後		2							兼3	
	レクリエーション実技	2前		1							兼1	
	食生活学	3前		2							兼1	
	衣生活学	3前		2							兼1	
	住生活学	3後		2		1						
	老年医学	2前		2							兼1	
	認知症論	2前		2				1				
	認知症ケア論	2後		2				1				
	障害のある人の理解	3後		2							兼1	
	生活生理学	1後		2							兼1	
	高齢者心理学	2前		2							兼1	
	健康福祉専門職演習Ⅰ	4前		2			1	1				
	健康福祉専門職演習Ⅱ	4後		2		1	1 2					届出時の誤記入のため訂正(26)
	健康産業施設実習	4前		2							兼1	
	福祉実践実習	4通 4前・後		2			2					届出時の誤記入のため訂正(26)
	専門演習Ⅰ	3前	2			6	8 5	2				教育効果を高めるため専任教員を追加配置(26)
	専門演習Ⅱ	3後	2			6	8 5	2				教育効果を高めるため専任教員を追加配置(26)
	専門演習Ⅲ	4前	2			6	8 5	2				教育効果を高めるため専任教員を追加配置(26)
	卒業研究	4後		2		6	8 5	2				教育効果を高めるため専任教員を追加配置(26)
	介護概論Ⅰ	2前		2			1					
	介護概論Ⅱ	2後		2				1				
	生活学概論	2後		2							兼2	
	介護技術演習Ⅰ	2前		1		1						
	介護技術演習Ⅱ	2前		2			1	1			兼1	
介護技術演習Ⅲ	2後		2		1		1			兼1		
介護技術演習Ⅳ	3前		1							兼1		
介護技術演習Ⅴ	3後		1		1					兼2		
介護過程Ⅰ(基礎)	2前		1			1						
介護過程Ⅱ(高齢者)	2後		1				1					
介護過程Ⅲ(身体障害者)	2後		1				1					
介護過程Ⅳ(知的・精神障害者、内部疾患者)	3前		1		1							
介護過程Ⅴ(在宅支援)	3後		1				1					
介護基礎演習	2前		1		1	1	2					
介護実習指導Ⅰ	2後		1		1	1	2					
介護実習指導Ⅱ	3通		2		1	1	2					
介護実習指導Ⅲ	4前		1		1	1	2					
介護実習Ⅰ	2後		4		1	1	2					

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
学 科 専 門 科 目	介護実習Ⅱ	3前		6		1	1	2					
	医療的ケアⅠ	3前		2		1						兼1	
	医療的ケアⅡ	3後		2								兼1	
	医療的ケア演習	4前		1				1				兼2	
	小計(115科目)	—	10	210	0	6	8 5	2	0	0	兼58 兼56		
合計(202科目)			—	33	347	0	6	8 5	2	0	0	兼124 兼115	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
21	181	0	202	21	181	0	202	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。))とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	北翔大学短期大学部と共用			
	校 舎 敷 地	0 m ²	82,343.00 m ²	0 m ²	82,343.00 m ²				
	運動場用地	0 m ²	41,311.00 m ²	0 m ²	41,311.00 m ²				
	小 計	0 m ²	123,654.00 m ²	0 m ²	123,654.00 m ²				
	そ の 他	0 m ²	0 m ²	2,349.59 m ²	2,349.59 m ²				
	合 計	0 m ²	123,654.00 m ²	2,349.59 m ²	126,003.59 m ²				
(2)校舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	北翔大学短期大学部と共用 校舎 増改築のため(26)				
	30,130.72 m² 38,682.99 m ² (30,130.72 m²) (38,682.99 m ²)	35,908.38 m² 21,408.05 m ² (35,908.38 m²) (21,408.05 m ²)	970.25 m² 7,763.79 m ² (970.25 m²) (7,763.79 m ²)	67,009.35 m² 67,854.83 m ² (67,009.35 m²) (67,854.83 m ²)					
(3)教室等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 北翔大学短期大学部と共用 校舎 増改築のため(26)		
		35 室 33 室	38 室 45 室	122 室 129 室	7 室 (補助職員 0人)	3 室 (補助職員 0人)			
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		生涯スポーツ学部 健康福祉学科			16 室				
(5)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	全学での共用分 ・図書 196,832 (17,785) 201,049〔17,916〕冊、 ・学術雑誌 3,106 (256) 3,128〔256〕種、 ・電子ジャーナル 6,726 (5,195) 7,257〔5,571〕 種 ・視聴覚資料 9,468 9,686 点 図書補充 整備の為(26)	
		生涯スポーツ学部 健康福祉学科	1,020〔 0 〕 (102〔 0 〕) (340〔 0 〕)	90〔 0 〕 (9〔 0 〕) (77〔 0 〕)	0〔 0 〕 (0〔 0 〕) (2,528〔1,473〕)	30 (3) (1)	(0) (0)		(0) (0)
		計	1,020〔 0 〕 (102〔 0 〕) (340〔 0 〕)	90〔 0 〕 (9〔 0 〕) (77〔 0 〕)	0〔 0 〕 (0〔 0 〕) (2,528〔1,473〕)	30 (3) (1)	(0) (0)		(0) (0)
(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 北翔大学短期大学部と共用	
		2,299.08 m ²		298 席		200,000 冊			
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体 北翔大学短期大学部と共用	
		2,214.00 m ²		陸上競技場、テニスコート、野球場、多目的グラウンド、トレーニング室、バドミントンコート					
(8)経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体 書購入費には電子ジャーナル・ データベースなどの整備費(運用コスト含む)を含む 見直しによる修正(26)
		教員 1 人当たり研究費等	250千円	250千円	図書購入費	0千円	23,713千円 26,149千円	23,713千円 26,149千円	
		共 同 研 究 費 等	2,930千円 10,380千円	2,930千円 10,380千円	設備購入費	0千円	86,370千円 24,630千円	86,370千円 24,630千円	
	学生 1 人当たり 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		1,410千円	1,100千円	1,100千円	1,100千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、手数料収入、資産運用収入等を充当する。					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
- なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	北 翔 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又は 称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
人間福祉学研究科 人間福祉学専攻	2年	4人		8人	修士 (人間福祉学)	0.50倍	平成13年度	江別市文京台23番地	
臨床心理学専攻	2年	6人		12人	修士 (臨床心理学)	0.50倍	平成15年度	同上	
生涯学習学研究科 生涯学習学専攻	2年	6人		12人	修士 (生涯学習学)	0.66倍	平成16年度	同上	
生涯スポーツ学研究科 生涯スポーツ学専攻	2年	6人		12人	修士 (スポーツ科学)	1.16倍	平成25年度	同上	
生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科	4年	160人	3年次 10人	670人	学士 (スポーツ教育学)	1.21倍	平成21年度	同上	
健康福祉学科	4年	60人	3年次 一人	60人	学士 (健康福祉学) (介護福祉学)	0.60倍	平成26年度	同上	平成26年度開設（届出）
教育文化学部 教育学科	4年	120人	3年次 一人	120人	学士 (教育学)	0.98倍	平成26年度	同上	平成26年度開設（届出）
芸術学科	4年	50人	3年次 一人	50人	学士 (芸術学)	0.50倍	平成26年度	同上	平成26年度開設（届出）
心理カウンセリング学科	4年	50人	3年次 一人	50人	学士 (心理カウンセリング学)	0.70倍	平成26年度	同上	平成26年度開設（届出）
人間福祉学部 地域福祉学科	4年	一人	3年次 5人	一人	学士 (社会福祉学) (介護福祉学)	一倍	平成 9年度	同上	平成25年度より学生募集停止
医療福祉学科	4年	一人	3年次 5人	一人	学士 (社会福祉学)	一倍	平成 9年度	同上	平成25年度より学生募集停止
福祉心理学科	4年	一人	3年次 5人	一人	学士 (臨床心理学) (福祉カウンセリング学) (養護実践学)	一倍	平成13年度	同上	平成25年度より学生募集停止
生涯学習システム学部 健康プランニング学科	4年	一人	3年次 一人	一人	学士 (生涯学習学)	一倍	平成12年度	同上	平成21年度より学生募集停止
芸術メディア学科	4年	一人	3年次 10人	一人	学士 (生涯学習学)	一倍	平成12年度	同上	平成25年度より学生募集停止
学習コーチング学科	4年	一人	3年次 15人	一人	学士 (生涯学習学)	一倍	平成18年度	同上	平成25年度より学生募集停止

大 学 の 名 称	北 翔 大 学 短 期 大 学 部								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
ライフデザイン学科	2年	50人	一人	130人	短期大学士 (ライフデザイン学)	0.58倍	平成15年度	江別市文京台23番地	
こども学科	2年	140人	一人	280人	短期大学士 (こども学)	0.92倍	平成17年度	同上	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。（ただし，専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。）
- ・ 「平均定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を，学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には，専攻課程）単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員と収容定員は「一」とし，「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・ 大学，短期大学においては学科単位（短期大学において専攻課程を置くときは専攻課程単位），大学院においては専攻単位で記入してください。

5 教員組織の状況

＜生涯スポーツ学部 健康福祉学科＞

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	小田 史郎 (40)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ	専任	教授	小田 史郎 (40)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ	クラス編成に伴う担当科目削除(26)
				基礎教育セミナーⅡ					基礎教育セミナーⅡ	クラス編成に伴う担当科目削除(26)
				健康学					健康学	
				就業力特別演習Ⅲ					就業力特別演習Ⅲ	
				健康福祉学概論Ⅰ					健康福祉学概論Ⅰ	
専任	教授	佐藤 克之 (59)	平成26年4月	健康福祉学概論Ⅱ	専任	教授	小田 史郎 (40)	平成26年4月	健康福祉学概論Ⅱ	
				運動処方					運動処方	
				専門演習Ⅰ					専門演習Ⅰ	
				専門演習Ⅱ					専門演習Ⅱ	
				専門演習Ⅲ					専門演習Ⅲ	
専任	教授	谷川 松芳 (63)	平成26年4月	卒業研究	専任	教授	谷川 松芳 (63)	平成26年4月	卒業研究	
				基礎教育セミナーⅠ					基礎教育セミナーⅠ	クラス編成に伴う担当科目削除(26)
				基礎教育セミナーⅡ					基礎教育セミナーⅡ	クラス編成に伴う担当科目削除(26)
				社会教育課題演習					社会教育課題演習	
				生涯学習論					生涯学習論	
専任	教授	林 恭裕 (63)	平成26年4月	地域支援実習	専任	教授	林 恭裕 (63)	平成26年4月	地域支援実習	
				専門演習Ⅰ					専門演習Ⅰ	
				専門演習Ⅱ					専門演習Ⅱ	
				専門演習Ⅲ					専門演習Ⅲ	
				卒業研究					卒業研究	
専任	教授	林 恭裕 (63)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ	専任	教授	林 恭裕 (63)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ	クラス編成に伴う担当科目削除(26)
				基礎教育セミナーⅡ					基礎教育セミナーⅡ	クラス編成に伴う担当科目削除(26)
				現代生活と福祉					現代生活と福祉	
				キャリア演習Ⅰ					キャリア演習Ⅰ	
				現代社会と福祉Ⅰ					現代社会と福祉Ⅰ	
専任	教授	林 恭裕 (63)	平成26年4月	現代社会と福祉Ⅱ	専任	教授	林 恭裕 (63)	平成26年4月	現代社会と福祉Ⅱ	
				社会福祉運営管理論					社会福祉運営管理論	
				専門演習Ⅰ					専門演習Ⅰ	
				専門演習Ⅱ					専門演習Ⅱ	
				専門演習Ⅲ					専門演習Ⅲ	
専任	教授	林 恭裕 (63)	平成26年4月	卒業研究	専任	教授	林 恭裕 (63)	平成26年4月	卒業研究	
				基礎教育セミナーⅠ					基礎教育セミナーⅠ	クラス編成に伴う担当科目削除(26)
				基礎教育セミナーⅡ					基礎教育セミナーⅡ	クラス編成に伴う担当科目削除(26)
				現代生活と福祉					現代生活と福祉	
				キャリア演習Ⅰ					キャリア演習Ⅰ	

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	藤原 素子 (64)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ	専任	教授	藤原 素子 (64)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ	クラス編成に伴う担当科目削除(26)
				基礎教育セミナーⅡ					基礎教育セミナーⅡ	クラス編成に伴う担当科目削除(26)
				専門演習Ⅰ					専門演習Ⅰ	
				専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 卒業研究 介護過程Ⅳ(知的・精神障害者、内部疾患者)					専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 卒業研究 介護過程Ⅳ(知的・精神障害者、内部疾患者)	
専任	准教授	尾形 良子 (49)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 地域支援実習 就業力特別演習Ⅰ 地域福祉論Ⅰ 地域福祉論Ⅱ 相談援助演習Ⅲ 相談援助演習Ⅳ 相談援助演習Ⅴ 相談援助実習指導Ⅰ 相談援助実習指導Ⅱ 相談援助実習 福祉実践実習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 卒業研究						
専任	教授	梶 晴美 (53)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ	専任	教授	梶 晴美 (53)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ	クラス編成に伴う担当科目削除(26)
				基礎教育セミナーⅡ					基礎教育セミナーⅡ	クラス編成に伴う担当科目削除(26)
				就業力特別演習Ⅱ					就業力特別演習Ⅱ	
				障害者福祉論 健康福祉専門職演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 卒業研究 介護技術演習Ⅰ 介護技術演習Ⅲ 介護技術演習Ⅴ 介護基礎演習 介護実習指導Ⅰ 介護実習指導Ⅱ 介護実習指導Ⅲ 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ 医療的ケアⅠ					障害者福祉論 健康福祉専門職演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 卒業研究 介護技術演習Ⅰ 介護技術演習Ⅲ 介護技術演習Ⅴ 介護基礎演習 介護実習指導Ⅰ 介護実習指導Ⅱ 介護実習指導Ⅲ 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ 医療的ケアⅠ	

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	准教授	黒澤 直子 (38)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ	専任	准教授	黒澤 直子 (38)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ	届出時の誤記入のため削除(26)
				基礎教育セミナーⅡ					基礎教育セミナーⅡ	届出時の誤記入のため削除(26)
				キャリアデザインⅢ					キャリアデザインⅢ	
				就業力特別演習Ⅲ					就業力特別演習Ⅲ	
				ソーシャルワーク論Ⅰ					ソーシャルワーク論Ⅰ	
				相談援助演習Ⅱ					相談援助演習Ⅱ	
				相談援助演習Ⅲ					相談援助演習Ⅲ	
				相談援助演習Ⅳ					相談援助演習Ⅳ	
				相談援助演習Ⅴ					相談援助演習Ⅴ	
				相談援助実習指導Ⅰ					相談援助実習指導Ⅰ	
				相談援助実習指導Ⅱ					相談援助実習指導Ⅱ	
				相談援助実習					相談援助実習	
				福祉実践実習					福祉実践実習	
				専門演習Ⅰ					専門演習Ⅰ	
				専門演習Ⅱ					専門演習Ⅱ	
				専門演習Ⅲ					専門演習Ⅲ	
				卒業研究					卒業研究	
専任	准教授	小坂井 留美 (42)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ	専任	准教授	小坂井 留美 (42)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ	届出時の誤記入のため削除(26)
				基礎教育セミナーⅡ					基礎教育セミナーⅡ	届出時の誤記入のため削除(26)
				生涯スポーツ学 地域支援実習					生涯スポーツ学 地域支援実習	
				スポーツ社会学	兼任	講師	千葉 直樹 (40)	平成26年4月	スポーツ社会学	教育内容の充実を図るため担当 教員変更(26)
				就業力特別演習Ⅱ	専任	准教授	小坂井 留美 (42)	平成26年4月	就業力特別演習Ⅱ	
				運動処方演習					運動処方演習	
				専門演習Ⅰ					専門演習Ⅰ	
専任	准教授	杉岡 品子 (50)	平成26年4月	専門演習Ⅱ					専門演習Ⅱ	
				専門演習Ⅲ					専門演習Ⅲ	
				卒業研究					卒業研究	
専任	准教授	久末 久美子 (61)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ	専任	准教授	久末 久美子 (61)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ	届出時の誤記入のため削除(26)
				基礎教育セミナーⅡ					基礎教育セミナーⅡ	届出時の誤記入のため削除(26)
				ソーシャルワーク論Ⅱ					ソーシャルワーク論Ⅱ	
				専門演習Ⅰ					専門演習Ⅰ	
専任	准教授			専門演習Ⅱ					専門演習Ⅱ	
				専門演習Ⅲ					専門演習Ⅲ	
専任	准教授			卒業研究					卒業研究	

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	准教授	本間 美幸 (57)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ キャリアデザインⅡ 就業力特別演習Ⅰ 健康福祉学概論Ⅰ 健康福祉学概論Ⅱ 生活の中の介護福祉 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 卒業研究 介護概論Ⅰ 介護技術演習Ⅱ 介護過程Ⅰ(基礎) 介護基礎演習 介護実習指導Ⅰ 介護実習指導Ⅱ 介護実習指導Ⅲ 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ						
専任	准教授	山本 麻由美 (36)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 日本語表現 キャリアデザインⅡ 健康福祉学概論Ⅰ 健康福祉学概論Ⅱ 社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ 相談援助演習Ⅳ 相談援助演習Ⅴ 相談援助実習指導Ⅰ 相談援助実習指導Ⅱ 相談援助実習 健康福祉専門職演習Ⅰ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 卒業研究						
専任	准教授	吉田 修大 (39)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ キャリアデザインⅢ 就業力特別演習Ⅱ 健康福祉学概論Ⅰ 健康福祉学概論Ⅱ 高齢者福祉論Ⅰ 高齢者福祉論Ⅱ 相談援助演習Ⅰ 相談援助演習Ⅳ 相談援助演習Ⅴ 相談援助実習指導Ⅰ 相談援助実習指導Ⅱ 相談援助実習 健康福祉専門職演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 卒業研究						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	講師	佐藤 郁子 (51)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 就業力特別演習Ⅲ 認知症論 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 卒業研究 介護技術演習Ⅱ 介護過程Ⅱ(高齢者) 介護過程Ⅴ(在宅支援) 介護基礎演習 介護実習指導Ⅰ 介護実習指導Ⅱ 介護実習指導Ⅲ 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ 医療的ケア演習						
専任	講師	八巻 貴穂 (46)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 介護福祉と生活文化 認知症ケア論 健康福祉専門職演習Ⅰ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 卒業研究 介護概論Ⅱ 介護技術演習Ⅲ 介護過程Ⅲ(身体障害者) 介護基礎演習 介護実習指導Ⅰ 介護実習指導Ⅱ 介護実習指導Ⅲ 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ						
兼任	教授	小杉 直美 (54)	平成26年4月	日本語表現 情報処理(中級)						
兼任	教授	福田 信一 (62)	平成26年4月	日本語表現 現代生活と教育						
兼任	教授	村松 幹男 (53)	平成26年4月	日本語表現						
兼任	教授	小坂 守孝 (47)	平成26年4月	日本語表現	兼任	教授	小坂 守孝 (47)	平成26年4月	日本語表現	
				キャリア演習Ⅱ			佐藤 至英 (55)	平成26年10月	キャリア演習Ⅱ	キャリア支援センター長担当科目のため担当教員変更(26)
				キャリア演習Ⅳ	兼任	教授			キャリア演習Ⅳ	キャリア支援センター長担当科目のため担当教員変更(26)
				インターンシップ					インターンシップ	キャリア支援センター長担当科目のため担当教員変更(26)
				人間関係の心理学	兼任	教授	小坂 守孝 (47)	平成26年4月	人間関係の心理学	
									キャリア演習Ⅰ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	小原 信夫 (66)	平成26年4月	日本語表現						
兼任	講師	石原 深雪 (36)	平成26年4月	日本語表現						
兼任	講師	前川 公美夫 (65)	平成26年4月	日本語表現						
兼任	准教授	松澤 衛 (47)	平成26年4月	数学入門 現代生活と物理 情報処理（中級） 情報処理（上級） 就業力特別講義Ⅰ	兼任	准教授	松澤 衛 (47)	平成26年10月	数学入門 現代生活と物理 情報処理（中級） 情報処理（上級） 就業力特別講義Ⅰ	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	教授	松村 憲治 (63)	平成26年4月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ	兼任	教授	松村 憲治 (64)	平成26年10月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	教授	水野 信太郎 (58)	平成26年4月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ スポーツ施設管理論 空間デザイン史	兼任	教授	水野 信太郎 (58)	平成26年10月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ スポーツ施設管理論 空間デザイン史	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	教授	澤田 一義 (63)	平成26年4月	数学入門 現代生活と政治・経済 就業力特別講義Ⅰ	兼任	教授	澤田 一義 (63)	平成26年10月	数学入門 現代生活と政治・経済 就業力特別講義Ⅰ	届出時の誤記入のため訂正(26)
									キャリアデザインⅡ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
									キャリアデザインⅢ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
									キャリア演習Ⅰ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
兼任	講師	佐々木 雅史 (61)	平成26年4月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ	兼任	講師	佐々木 雅史 (61)	平成26年10月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	菊池 隆夫 (66)	平成26年4月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ 就業力特別講義Ⅱ	兼任	講師	菊池 隆夫 (67)	平成26年10月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ 就業力特別講義Ⅱ	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	西村 光弘 (70)	平成26年4月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ	兼任	講師	西村 光弘 (70)	平成26年10月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	槇 洋一 (42)	平成26年4月	情報機器操作Ⅰ 情報機器操作Ⅱ						
兼任	教授	北村 優明 (64)	平成27年4月	健康体育（実技を含む）	兼任	教授	北村 優明 (63)	平成27年4月	健康体育（実技を含む）	
									キャリア演習Ⅰ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
兼任	講師	近藤 雄一郎 (30)	平成26年4月	健康体育（実技を含む） 体育原理 トレーニング演習 体力測定評価演習	兼任	講師	近藤 雄一郎 (30)	平成26年10月	健康体育（実技を含む） 体育原理 トレーニング演習 体力測定評価演習	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	重成 敏史 (62)	平成26年4月	健康体育（実技を含む） トレーニング演習 生涯スポーツ（陸上競技）						
兼任	講師	S. R. ホガード (39)	平成26年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語（中級） 英語（上級）						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	C. B. サイモンズ (53)	平成27年4月	英語（中級） 英語（上級）						
兼任	講師	A. R. ライアン (40)	平成27年4月	英語（中級） 英語（上級）						
					兼任	講師	水谷 一郎 (66)	平成27年4月	英語（中級） 英語（上級）	少人数教育実施のため担当教員追加(26) 少人数教育実施のため担当教員追加(26)
兼任	講師	田 光子 (55)	平成26年4月	韓国語 日本語						
兼任	講師	千 永柱 (42)	平成27年4月	韓国語						
兼任	講師	胡 躍華 (56)	平成27年4月	中国語						
兼任	講師	菊地 達夫 (45)	平成26年4月	ドイツ語 現代日本の文化	兼任	講師	菊地 達夫 (45)	平成26年10月	ドイツ語 現代日本の文化	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	三浦 なつみ (38)	平成27年4月	フランス語						
兼任	講師	利根川 リリ (44)	平成27年4月	スペイン語	兼任	講師	田中 恵子 (54)	平成27年4月	スペイン語	兼任講師辞退に伴う担当教員変更(26)
兼任	教授	相内 眞子 (67)	平成27年4月	現代生活と政治・経済	兼任	講師	相内 眞子 (66)	平成27年4月	現代生活と政治・経済	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	平澤 卓人 (32)	平成27年4月	現代生活と法律						
兼任	准教授	末次 弘明 (43)	平成27年4月	現代生活と芸術	兼任	准教授	山崎 正明 (57)	平成26年10月	現代生活と芸術 キャリアデザインⅡ	退職に伴う担当教員変更(26) 展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
兼任	教授	鈴木 しおり (61)	平成27年4月	現代生活と芸術 音楽史						
兼任	講師	小田 研 (56)	平成27年4月	現代生活と物理	兼任	講師	小田 研 (55)	平成27年10月	現代生活と物理	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	准教授	中山 雅茂 (40)	平成27年4月	現代生活と宇宙	兼任	准教授	横山 光 (41)	平成27年10月	現代生活と宇宙	退職に伴う担当教員変更(26) 届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	教授	佐々木 浩子 (53)	平成27年4月	現代生活と環境科学	兼任	教授	佐々木 浩子 (52)	平成27年4月	現代生活と環境科学 キャリアデザインⅢ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	小田嶋 政子 (65)	平成26年4月	北海道の文化 食生活と健康 食生活学						
兼任	講師	佐藤 静也 (69)	平成27年4月	日本国憲法	兼任	講師	佐藤 静也 (68)	平成27年10月	日本国憲法	届出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	講師	大関 慎 (57)	平成27年4月	情報社会及び情報倫理	兼任	講師	大関 慎 (56)	平成27年10月	情報社会及び情報倫理	届出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	教授	佐々木 邦子 (59)	平成26年4月	キャリアデザインⅠ 青少年学習コーチング論 リカレント教育論						
兼任	准教授	丸岡 里香 (55)	平成29年4月	キャリア演習Ⅲ						
兼任	教授	小室 晴陽 (57)	平成28年4月	就業力特別講義Ⅱ						
兼任	准教授	川崎 直樹 (35)	平成26年4月	心理学概論	兼任	講師	澤 聡一 (37)	平成26年4月	心理学概論	退職に伴う担当教員変更 (26)
									キャリアデザインⅢ	展開方法変更に伴う担当教員追加 (26)
兼任	教授	佐藤 至英 (55)	平成26年4月	心理統計法 福祉心理学 就業力特別演習Ⅱ	兼任	教授	佐藤 至英 (55)	平成26年10月	心理統計法 福祉心理学 就業力特別演習Ⅱ	届出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	准教授	新川 貴紀 (36)	平成26年4月	生涯発達心理学						
兼任	教授	風間 雅江 (54)	平成27年4月	育児支援の心理学						
兼任	准教授	飯田 昭人 (41)	平成27年4月	犯罪心理学	兼任	准教授	飯田 昭人 (40)	平成27年10月	犯罪心理学	届出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	講師	藤川 和信 (64)	平成28年4月	社会教育概論 社会教育計画 生涯学習展開論	兼任	講師	藤川 和信 (62)	平成28年10月	社会教育概論 社会教育計画 生涯学習展開論	届出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	講師	宗本 和博 (65)	平成29年4月	社会教育課題研究						
兼任	講師	大山 芳男 (70)	平成29年4月	社会教育施設論						
兼任	准教授	大信田 静子 (54)	平成26年4月	ファッションデザイン概論						
兼任	准教授	富田 玲子 (57)	平成26年4月	ファッションデザイン概論	兼任	准教授	富田 玲子 (57)	平成26年4月	ファッションデザイン概論	展開方法変更に伴う担当教員追加 (26)
									キャリアデザインⅢ	
兼任	教授	千里 政文 (47)	平成26年4月	インテリアデザイン ユニバーサルデザイン	兼任	教授	千里 政文 (47)	平成26年10月	インテリアデザイン ユニバーサルデザイン	届出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	講師	柴 勤 (61)	平成27年4月	美術史	兼任	講師	柴 勤 (60)	平成27年10月	美術史	届出時の誤記入のため訂正 (26)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	北村 清彦 (60)	平成28年4月	美学						
兼任	教授	菅原 克弘 (60)	平成26年4月	音楽概論 音楽史	兼任	教授	菅原 克弘 (61)	平成26年10月	音楽概論 音楽史	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	准教授	千葉 圭説 (47)	平成27年4月	音楽鑑賞法 音楽史	兼任	准教授	千葉 圭説 (46)	平成27年4月		
									キャリア演習Ⅰ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
兼任	教授	岡元 真理子 (63)	平成27年4月	音楽史	兼任	教授	岡元 真理子 (62)	平成27年10月	音楽史	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	教授	土屋 律子 (63)	平成26年4月	栄養と健康 健康栄養学	兼任	教授	土屋 律子 (63)	平成26年10月	栄養と健康 健康栄養学	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	教授	沖田 孝一 (52)	平成27年4月	健康管理論	兼任	講師	本間 亜希子 (46)	平成27年4月	健康管理論	担当教員の開講数調整のため担当教員変更(26)
				スポーツ内科学 救急処置 運動処方演習 生活習慣病概論	兼任	教授	沖田 孝一 (51)	平成27年4月	スポーツ内科学 救急処置 運動処方演習 生活習慣病概論	
兼任	准教授	青木 康太郎 (38)	平成27年4月	地域支援実習 野外・レクリエーション指導論 レクリエーション マネジメント						
兼任	准教授	大西 昌美 (57)	平成26年4月	地域支援実習 コーチ学	兼任	准教授	大西 昌美 (57)	平成26年10月	地域支援実習 コーチ学	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	教授	粥川 道子 (61)	平成26年4月	コミュニケーション論	兼任	教授	粥川 道子 (61)	平成26年10月	コミュニケーション論	届出時の誤記入のため訂正(26)
				レジャー・レクリエーション論					キャリアデザインⅡ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
兼任	教授	菊地 はるひ (53)	平成27年4月	健康運動指導演習 就業力特別演習Ⅰ 生涯スポーツ(エアロビック) 生涯スポーツ指導演習(エアロビック)	兼任	教授	菊地 はるひ (52)	平成26年4月	健康運動指導演習 就業力特別演習Ⅰ 生涯スポーツ(エアロビック) 生涯スポーツ指導演習(エアロビック)	配当年次変更に伴う就任予定年月変更(26)
兼任	講師	花井 篤子 (41)	平成26年4月	健康運動指導演習 生涯スポーツ指導演習(水泳・水中運動)	兼任	准教授	花井 篤子 (41)	平成28年4月	健康運動指導演習 生涯スポーツ指導演習(水泳・水中運動)	スポーツ教育学科専任教員に就任のため兼任・准教授に変更(26) 届出時就任予定年月誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	吉田 聡美 (47)	平成26年4月	スポーツ心理学						
兼任	講師	廣田 修平 (25)	平成26年4月	スポーツ運動学 生涯スポーツ(器械運動)						
兼任	准教授	永谷 稔 (43)	平成26年4月	スポーツマネジメント	兼任	准教授	永谷 稔 (44)	平成27年4月	スポーツマネジメント	担当科目削除による就任予定年月変更(26)
				スポーツ医学基礎					スポーツ医学基礎	展開方法変更に伴う担当教員削除(26)
				生涯スポーツ(バレーボール)					生涯スポーツ(バレーボール)	
兼任	講師	金 誠 (41)	平成28年4月	スポーツ史	兼任	講師	金 誠 (40)	平成28年10月	スポーツ史	届出時の誤記入のため訂正(26)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	吉田 昌弘 (33)	平成26年4月	生理学 就業力特別演習Ⅰ 就業力特別演習Ⅱ スポーツ医学基礎 身体発育・発達論						
兼任	教授	川初 清典 (67)	平成26年4月	運動生理学	兼任	教授	川初 清典 (67)	平成26年10月	運動生理学	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	准教授	上田 知行 (47)	平成26年4月	就業力特別演習Ⅰ 中高年スポーツ論 トレーニング演習 生涯スポーツ(陸上競技) 運動処方演習 体力測定評価演習 健康産業施設実習						
兼任	教授	竹田 唯史 (50)	平成28年4月	就業力特別演習Ⅰ	兼任	教授	竹田 唯史 (48)	平成28年10月	就業力特別演習Ⅰ	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	准教授	和 史朗 (47)	平成28年4月	就業力特別演習Ⅰ 障がい者スポーツ論 生涯スポーツ(障 がい者スポーツ)	兼任	准教授	和 史朗 (46)	平成28年10月	就業力特別演習Ⅰ 障がい者スポーツ論 生涯スポーツ(障 がい者スポーツ)	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	教授	吉澤 正伸 (66)	平成29年4月	就業力特別演習Ⅱ						
兼任	教授	畠山 孝子 (62)	平成29年4月	就業力特別演習Ⅲ ジュニアスポーツ論	兼任	教授	畠山 孝子 (59)	平成28年10月	就業力特別演習Ⅲ ジュニアスポーツ論	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	准教授	吉田 真 (40)	平成26年4月	就業力特別演習Ⅲ 機能解剖学 救急処置	兼任	准教授	吉田 真 (41)	平成26年10月	就業力特別演習Ⅲ 機能解剖学 救急処置	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	渡邊 耕太 (48)	平成28年4月	スポーツ整形外科学						
兼任	講師	小島 昌規 (52)	平成28年4月	スポーツ整形外科学						
兼任	講師	谷 雅彦 (55)	平成28年4月	スポーツ整形外科学						
兼任	講師	廣瀬 聡明 (47)	平成28年4月	スポーツ整形外科学						
兼任	准教授	山本 敬三 (40)	平成27年4月	スポーツ・バイオメカニクス						
兼任	講師	高田 真吾 (28)	平成26年4月	基礎解剖学 トレーニング演習						
兼任	准教授	井出 幸二郎 (44)	平成26年4月	トレーニング論 トレーニング演習						
兼任	講師	柚木 孝敬 (41)	平成26年4月	トレーニング演習	兼任	講師	山本 敏美 (40)	平成26年10月	トレーニング演習	兼任講師辞退に伴う担当教員変更(26) 届出時の誤記入のため訂正(26)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	渡辺 保 (63)	平成26年4月	生涯スポーツ（陸上競技）	兼任	講師	伊丸岡 亮太 (26)	平成26年4月	生涯スポーツ（陸上競技）	展開方法変更に伴う担当教員変更(26)
					兼任	講師	林 義寛 (69)	平成26年4月	生涯スポーツ（陸上競技）	展開方法変更に伴う担当教員変更(26)
兼任	講師	川端 茂夫 (64)	平成26年4月	生涯スポーツ（器械運動）	兼任	講師	川端 茂夫 (64)	平成26年4月	生涯スポーツ（器械運動）	展開方法変更に伴う科目削除(26)
兼任	講師	工藤 憲 (65)	平成26年4月	生涯スポーツ（バレーボール）	兼任	講師	志手 典之 (53)	平成26年10月	生涯スポーツ（バレーボール）	時間割編成上のため担当教員変更(26) 届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	准教授	千葉 直樹 (40)	平成26年4月	生涯スポーツ（バスケットボール）	兼任	講師	横山 茜理 (28)	平成26年10月	生涯スポーツ（バスケットボール）	展開方法変更に伴う担当教員変更(26) 届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	白川 和希 (33)	平成27年4月	生涯スポーツ（ニュースポーツ） 体力測定評価演習	兼任	講師	白川 和希 (32)	平成27年10月	生涯スポーツ（ニュースポーツ） 体力測定評価演習	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	竹内 美幸 (56)	平成28年4月	医療的ケアⅡ 医療的ケア演習	兼任	講師	竹内 美幸 (54)	平成28年10月	医療的ケアⅡ 医療的ケア演習	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	加藤 満 (68)	平成27年4月	体力測定評価 体力測定評価演習						
兼任	講師	葉梨 淑子 (64)	平成29年4月	介護実践管理論						
兼任	講師	干場 有理子 (47)	平成29年4月	介護実践管理論						
兼任	教授	大宮司 信 (69)	平成26年4月	医学概論 医学知識 老年医学						
兼任	講師	竹中 健 (48)	平成26年4月	社会学	兼任	講師	森下 義亜 (38)	平成26年4月	社会学	兼任講師辞退に伴う担当教員変更(26)
				社会福祉調査論	兼任	講師	西浦 功 (42)	平成26年10月	社会福祉調査論	兼任講師辞退に伴う担当教員変更(26)
兼任	講師	若狭 重克 (50)	平成27年4月	ソーシャルワーク概説Ⅰ ソーシャルワーク概説Ⅱ 高齢者福祉論Ⅰ 高齢者福祉論Ⅱ 相談援助演習Ⅲ						
兼任	講師	笠師 千恵 (39)	平成27年4月	ソーシャルワーク論Ⅲ 相談援助演習Ⅰ 相談援助演習Ⅱ						
兼任	講師	寺田 香 (52)	平成28年4月	ソーシャルワーク論Ⅳ 医療福祉論						
兼任	講師	伊藤 新一郎 (35)	平成27年4月	社会福祉行政・福祉計画論 公的扶助論	兼任	講師	伊藤 新一郎 (34)	平成27年10月	社会福祉行政・福祉計画論 公的扶助論	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	大場 信一 (63)	平成26年4月	児童・家庭福祉論	兼任	講師	大場 信一 (63)	平成26年10月	児童・家庭福祉論	届出時の誤記入のため訂正(26)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	橋本 菊次郎 (44)	平成28年4月	就労支援論	兼任	講師	橋本 菊次郎 (42)	平成27年4月	就労支援論 キャリアデザインⅢ	担当科目追加による就任予定年月変更(26) 展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
兼任	講師	鈴木 道代 (32)	平成27年4月	権利擁護と成年後見制度 相談援助演習Ⅰ 相談援助演習Ⅱ						
兼任	講師	林 晴巳 (69)	平成28年4月	司法福祉論	兼任	講師	林 晴巳 (67)	平成28年10月	司法福祉論	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	大須田 祐亮 (32)	平成28年4月	リハビリテーション論	兼任	講師	大須田 祐亮 (30)	平成28年10月	リハビリテーション論	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	小玉 武志 (32)	平成28年4月	リハビリテーション論	兼任	講師	小玉 武志 (30)	平成28年10月	リハビリテーション論	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	須鎌 康介 (40)	平成28年4月	リハビリテーション論	兼任	講師	須鎌 康介 (38)	平成28年10月	リハビリテーション論	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	笹木 笑子 (61)	平成27年4月	レクリエーション実技 介護技術演習Ⅳ						
兼任	講師	泉山 幸代 (67)	平成28年4月	衣生活学						
兼任	講師	山道 祐子 (55)	平成27年4月	障害のある人の理解 介護技術演習Ⅱ 介護技術演習Ⅲ						
兼任	講師	早坂 寿美 (47)	平成26年4月	生活生理学	兼任	講師	早坂 寿美 (47)	平成26年10月	生活生理学	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	田辺 毅彦 (57)	平成27年4月	高齢者心理学						
兼任	講師	小野寺 典子 (59)	平成27年4月	生活学概論	兼任	講師	小野寺 典子 (58)	平成27年10月	生活学概論	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	青山 重美 (47)	平成27年4月	生活学概論	兼任	講師	青山 重美 (46)	平成27年10月	生活学概論	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	鈴木 真由美 (69)	平成28年4月	介護技術演習Ⅴ	兼任	講師	鈴木 真由美 (67)	平成28年10月	介護技術演習Ⅴ	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	鼻和 暢子 (57)	平成28年4月	介護技術演習Ⅴ	兼任	講師	鼻和 暢子 (55)	平成28年10月	介護技術演習Ⅴ	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	福田 道代 (64)	平成28年4月	医療的ケアⅠ 医療的ケア演習						
					兼任	准教授	浅井 貴也 (40)	平成26年10月	キャリアデザインⅡ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
					兼任	准教授	今井 博康 (53)	平成26年10月	キャリアデザインⅡ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	教授	高田 茂 (64)	平成26年10月	キャリアデザインⅡ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
					兼任	教授	横山 眞太郎 (65)	平成27年4月	キャリアデザインⅢ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
					兼任	准教授	森井 綾 (50)	平成28年4月	キャリア演習Ⅰ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					年 齢 構 成	
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
6	5	2	0	13	6	8	2	0	16	65	0
(6)	(8)	(2)	(0)	(16)	[0]	[3]	[0]	[0]	[3]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由 「該当なし」

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時	届出設置のため該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

＜生涯スポーツ学部 健康福祉学科＞

(1) 設置計画変更事項等「該当なし」

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・ 短期大学部を含む全学的なFD支援委員会を設置している。
- ・ FDの目的、諸活動を実施するための決議機関としてFD推進会議がある。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ FD支援委員会 月1回 その他臨時開催
- ・ FD推進会議 年2回 その他臨時開催

c 委員会の審議事項等

- ・ 授業改善アンケート、研修会開催、その他FD活動に関して

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業改善アンケート
- ・ 授業公開
- ・ 新任教員研修会
- ・ FD/SD研修会他

b 実施方法

- ・ 授業改善アンケート：大学院生全員アンケート配布（アンケート内容については、大学院で決める）
- ・ 授業公開：公開期間内に学部学科を超えて参加できる授業に参加する。
- ・ 新任教員研修会：毎年5月実施
- ・ FD/SD研修会他：FD支援委員会主催の研修会

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 授業公開：公開期間となっているため参加しやすくなり、年々参加者が増えている。
- ・ 新任教員研修会：授業が無い限り参加する。
- ・ FD/SD研修会：FDの浸透により参加者が増えている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 研修会、授業公開等参加し授業の幅が広がり授業改善の参考となっている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 前期、後期の2回予定

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 実施したアンケートを纏め研究科で改善を検討する
- ・ 実施結果を各教員に返却し、返却後に改善等のコメントをもらう。
- ・ 学部学科は、FDネットワーク”つばさ”研究年報及び図書館で公開する。

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

北翔大学の生涯スポーツ学部は、これまで「生涯スポーツ社会」の実現を目指して、スポーツ・運動・健康・体育・レクリエーションに関する幅広い知識や技能を備え、主体的・活動的・健康的な生き方を実践・支援できる人材を養成し成果を上げてきた。急速に高齢化が進行する今日の社会状況から、今後は、人々の高齢化を視野に入れた、新たな「生涯スポーツ社会」の構築が求められることになる。すなわち、個人がそれぞれのライフステージに応じた運動やスポーツ活動に親しむことができる健康で豊かな生活の実現のためには、スポーツからのアプローチに加えて福祉的な視点からのアプローチが不可欠である。

本学が位置する北海道は、高齢化と過疎化が同時に進行する地域特性が際立っており、福祉的アプローチを加えた「生涯スポーツ社会」の実現は急務と言える。こうした社会の養成に應えるため、これまでの人間福祉学部の教育研究と生涯スポーツ学部で展開してきた教育研究を融合し、健康、運動と福祉の素養をあわせもった人材の養成を目指し、ここに健康福祉学科を設置するものである。

平成26年度の健康福祉学科の入学者は36名であり、その各種講義における指導が平成26年4月より開始された。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

記入例)

・平成27年9月 公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、学内の各部署に各1冊を配布予定
- ・大学ホームページ上に平成27年9月公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成29年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成26年 6月 末日)

北翔大学 F D 規程

(趣旨)

第 1 条 この規程は、北翔大学学則第43条の 2 第 2 項及び北翔大学短期大学部学則第 40 条の 2 第 2 項の規定に基づき、北翔大学及び北翔大学短期大学部（以下「本学」という。）の授業の内容及び方法の改善を図るため、全学的な研修及び研究（以下「F D」という。）の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

(F D の目的及び活動)

第 2 条 本学は、前条に掲げる目的を達成するため、次に掲げる諸活動を行うものとする。

- (1) 教員の教育能力向上のための教育技術の開発・向上、授業計画の立案、学習に関する理論の研究及び教育評価方法の習得のための活動
- (2) 教育課程の開発・向上のための授業計画の立案、学習に関する理論の研究及び教育評価方法の習得のための活動
- (3) 教育目的を達成するための教員組織、単位制、クラス編成、修学及び生活指導体制並びに施設向上のための活動
- (4) F D 推進・啓発を目的とした活動

2 前項に規定する目的及び諸活動を実施するための決議機関は、F D 推進会議とする。

また、F D 支援委員会が中心として全学的な活動を行う。

(推進会議の審議事項)

第 3 条 推進会議は、目的を達成するため、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 授業改善のため基本方針及び実施体制に関する事項
- (2) 授業評価の実施に関する事項
- (3) 教授方法等の改善のための支援に関する事項
- (4) F D 推進・啓発を目的とした講演会、教職員研修会に関する事項
- (5) その他 F D に関する事項

(推進会議の組織)

第 4 条 推進会議は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 教育支援総合センター長
- (2) 研究科長
- (3) 学部長及び学科長
- (4) F D 支援オフィス長
- (5) 学習支援オフィス長
- (6) 事務局長
- (7) 教育支援総合センター 担当部長

(推進会議の議長及び副議長)

第 5 条 推進会議に議長及び副議長を置く。

2 議長は、教育支援総合センター長をもって充てる。

3 副議長は、議長が指名した者をもって充てる。

4 議長に事故があるときは、副議長がその職務を代行する。

(開催・招集)

第6条 推進会議は、定例及び臨時開催とする。

2 定例の開催は年2回とする。

3 推進会議の開催は議長が招集する。

(推進会議の議事)

第7条 推進会議は、構成員の過半数の出席がなければ、議事を開き議決することができない。

2 推進会議の議事は、出席者の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(構成員以外の者の出席)

第8条 推進会議が必要と認めたときは、構成員以外の者を推進会議に出席させて、その者から説明又は意見を聴くことができる。

(FD支援委員会)

第9条 教育支援総合センターにFD支援オフィス（以下「支援オフィス」という。）、及びその運営審議機関としてFD支援委員会（以下「支援委員会」という。）を置く。

2 支援委員会は、第2条各号及び第4条第2項に規定する諸活動等について、推進会議が実施するFD及び教育評価の実施に関する事項について、企画・立案し、実施計画を策定し推進会議の承認を経て実施する。

3 支援委員会並びに支援オフィスは、推進会議が決定したFD及び教育評価の実施計画及び実施要領に基づき、必要な実施組織等を編成して実施の任にあたるものとする。

4 第9条2項の実施した活動結果を推進会議に報告するものとする。

5 支援委員会の組織については、教育支援総合センター規程に定める。

(結果の公表)

第10条 支援委員会は、FDの実施結果を可能な限り公表するとともに、広く閲覧に供するものとする。

(結果の活用)

第11条 学部等の長並びに構成員は、FD及び教育評価の結果を真摯に受け止め、第2条各号に掲げる諸活動を活性化し、教育の質の向上に努めるとともに、改善が必要と認められる事項については、自ら改善に努めなければならない。

2 学長は、FD及び教育評価の実施結果、本学全体に共通する事項で、組織的に改善することが適当と認められる事項については、学部等に改善策の検討を諮問するものとする。

3 学長は、特定の学部等に固有の事項で、組織的に改善が必要と認められる事項については、該当学部等の長に改善を勧告することができる。

(推進会議の事務)

第12条 推進会議は、支援オフィスにおいて処理する。

(雑則)

第13条 この規程に定めるもののほか、FD及び教育評価の実施並びに推進会議の運営等

に関し必要な事項は、推進会議の議を経て、学長が別に定める。

(改正)

第14条 この規程の改正は、教授会の議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は、平成16年7月6日から施行し、平成16年4月1日から適用する。

附 則（校名変更及び機構改正に伴う改正）

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（校名変更及び組織の変更に伴う改正）

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（組織の変更に伴う改正）

この規程は、平成21年5月12日から施行し、平成21年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成22年8月10日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年8月7日から施行する。